

120年の軌跡

8

このコーナーでは、宇都宮の120年の歩みを年表と写真で紹介します。

昭和41～50年



◀ 駅東土地区画整理事業 人口増加や交通量増大に伴い、土地区画整理事業が相次ぎました。駅東地区は約25ヘクタールを整備し、JR東北線の踏切を立体化し、駅の東西をつなぐ自由通路、市体育館、マロニエプラザを設置し、宇都宮の新しい顔として生まれ変わりました。

宇都宮市年表

西暦	昭和	主な出来事
1966	41	▽市制70周年記念式を挙行
1968	43	▽オゾン通りで初の歩行者天国 ▽駅東土地区画整理事業着手
1969	44	▽市宮御本丸スケート場が開場
1970	45	▽市役所別館が完成 ▽市花が「つばき」に決まる ▽市河川愛護会が発足
1972	47	▽市内で初の冬期国体 ▽市章規格、市旗が決まる ▽東北自動車道(石槻～宇都宮)が開通 ▽南大通りに初の自転車専用道路
1973	48	▽ごみの紙袋収集を全市で実施
1975	50	▽中央卸売市場が開場



▶ 中央卸売市場 青果物、鮮魚類を新鮮なまま豊富に安定した価格で市民の皆さんに提供するために開場。海なし県に海産物が全国から直送されるようになり、北関東で初の大規模市場といわれました。